

地域防災シルバー人材活用

焼津、有志ら無線クラブ

焼津市シルバー人材センターの会員有志がこのほど、災害時に備えた防災無線ボランティアクラブを結成し、訓練を重ねている。自由な時間が多いシルバー世代の強みを生かし、防災情報の収集と発信に努める。同センターによると、市町のシルバー人材センターでは全国的にも珍しい取り組みという。

「焼津市シルバー人材倶楽部(クラブ)」と名付け、60歳以上の同市内の会員10人が参加する。会員が自宅や車内に無線装置を持つほか、同市崇高のセンター事務所にもクラブの基地局も置いた。クラブの想定では、



今後の活動方針を話し合う「焼津市シルバーホーム倶楽部」会員―焼津市総合福祉会館

会員は災害時に各地で被災情報を収集し、基地局と連携しながら市内外に被災情報を発信する。結成後、会員は市内の防災訓練で通信訓練を続けていて、12月には初めて近隣市にも情報を送った。

3月11日に千葉県を視察していた同センター関係者が東日本大震災の揺れを経験したこともあり、以前から防災無線に注目していた同センターが資格保持者を募った。「中越地震などでも防災無線が役立っていた。いろいろな資格を持つ人がいるセンターの『人材』を活用したかった」と同センター職員は話す。

同クラブによると、東日本大震災以後、アマチュア無線への関心は高まり、試験受験者も増えているという。

無線歴25年の筒井昭司代表(68)は「今後は自治体や周辺市町のシルバー人材センターとも連携し、地域の減災に役立ちたい」と意気込む。

金時山 足柄峠

初日の出客にピンバッジ

小山町観光協会は元旦に、同町の金時山や足柄峠を訪れた初日の出客に、

出客を対象に記念のピンバッジを無料で配布する。

ピンバッジは、同町ゆかりの金太郎のまさかり型で金太郎のキャラクターや「2012初日の出」と刻まれている。今年は金時山分と足柄峠分計800個を用意した。

観光協会関係者が初日の出を拝んだ後、猪鼻神社を参拝し、希望者に配布する。今回で39回目を迎える恒例の記念行事。

金時山や足柄峠で配布される初日の出記念ピンバッジ



の里まみしたイノナヌ地し、まをまーいし、全をまーい

「春季雑」季題俳句を募集 松崎

松崎町大沢区は1月1日から、3月に開かれる「第67回大沢桜祭り」で展示する俳句の季題は「

ロダン館に観覧台折り紙コーナーも 2月まで県美術館(静岡市駿河区谷田)は2月12日まで、ロダン館の常設展示彫刻の近くに観覧台を組み、普段とは異なった視点から鑑賞する「やぐらプロジェクト」を初開催している。折り紙で「考える人」を写るコーナーも高き約

